

日本英学史学会広島支部 及び 中国・四国支部

研究例会の歩み

事務局編

第1回 昭和53(1978)年1月14日(広島大学教育学部)

発表「ふたつの英国と日本」小山東一

「英学の原型を求めて—マックガファイ第一読本」寺田芳徳

第2回 昭和53(1978)年5月20日(広島大学教育学部)

発表「広島における英語教育史研究」松村幹男

「富士川游の業績について」江川義雄

講演「私の英語学習・研究—回顧」小川二郎

第3回 昭和53(1978)年11月18日(広島大学附属中・高等学校)

発表「山口県の中等学校英語教育史—明治末期の萩中学校を中心に」(中間発表)

島田郁子

「広島県東部の中等学校英語教育史研究—府中中学校の場合」(中間発表)

的場泰之

「藤村作の英語科廃止論—その国語観・国語教育観との比較において」

竹中龍範

講演「英語学習の思い出」植木松太郎

第4回 昭和54(1979)年2月10日(広島大学学校教育学部)

発表「浦口文治のグループ・メソッド」縫部義憲

「坪内逍遙の沙翁初訳『自由太刀余波鋭鋒』」田村一郎

「備後における英学」妹尾啓司

講演「『東方見聞録』とコロンブス」伊東隆夫

第5回 昭和54(1979)年6月9日(広島大学教育学部)

発表「Francis Brinkley と『語学独案内』」田中正道

「小学校教則大綱(明治24年)と英語」五十嵐二郎

講演「日本医学への外国からの影響」西丸和義

- 第 6 回 昭和 54 (1979) 年 8 月 28 日 (広島相互銀行堺町支店)
発表「公文書に見られる庄原英学校」寺田芳徳
「広島外国語学校・英語学校について」定宗一宏
講演「船乗り英語よもやま話」平賀春二
- 第 7 回 昭和 55 (1980) 年 2 月 2 日 (広島大学附属中・高等学校)
発表「勝俣銓吉郎『英和活用大辞典』の系譜」竹中龍範
「英学することの意味—英語教育との関連において」荒木敬輔
講演「昭和初期の旧制中学校における英語教育」橋本保人
- 第 8 回 昭和 55 (1980) 年 7 月 26 日 (広島市せとうち苑)
発表「ISED, ALD に見られる Lexicography—A.S. Hornby 研究 (1)」深沢清治
「明治の女子教育に於ける沙翁像—『女学雑誌』を中心として」田村一郎
座談会「広島文理科大学創設のころ—平賀春二・渡辺彰両先生を囲んで」松村幹男
- 第 9 回 昭和 56 (1981) 年 2 月 28 日 (広島大学学校教育学部)
発表「広島高師附中英語教育の史的概観」寺田芳徳
研究協議会「広島の英学・英語教育史研究の推進について」五十嵐二郎
- 第 10 回 昭和 56 (1981) 年 7 月 4 日 (広島大学教育学部)
発表「R.B.マッケロー・片山寛『英語発音学』とその意義」竹中龍範
「Some Trial to Introduce Direct Method into English Learning in Japan」
高垣俊雄
「眼鏡と時計伝来考」田中重行
- 第 11 回 昭和 56 (1981) 年 12 月 5 日 (福山市第一イン)
発表「外山正一著『英語教授法』(1897)について—『正則文部省英語読本』
第 1 巻との比較に於いて」多賀徹哉
「Palmer 博士著 Three Lectures について—晩年の Palmer 博士像を追って」
小篠敏明
講演「福原麟太郎先生の思い出」小山東一
- 第 12 回 昭和 57 (1982) 年 6 月 5 日 (広島大学学校教育学部)
発表「大分高商時代の A.S. Hornby—『大分高商二十年史』より」深沢清治
「言語学と英語の辞書」高橋 久
講演「第二次大戦前ならびに戦時中のわが国の英学雑話」古賀頴夫

第13回 昭和57(1982)年11月20日(広島大学教育学部)

発表「旧制忠海中学校初期の英語教育」新谷孝雄

「日米交流の先駆者—平原善松」高垣俊雄

「広島英和女学校とゲーンズ校長」山本勇三

「明治期の英文典について」多田保行

第14回 昭和58(1983)年7月2日(広島大学教育学部)

発表「明治後期の英語教育史—三次中学校のばあい」野村勝美

「英学の文化と福音—庄原における英学教育と伝道」寺田芳徳

講演「戦前の広島女学院における英語教育」今石益之

第15回 昭和58(1983)年12月10日(福山市太宗建設)

発表「『ナショナル・リーダー』再考—今日の視点から」木下 徹

「杉浦重剛と私立東京英語学校」竹中龍範

「明治期における誠之館の英語教育—明治40年代を中心に」松村幹男

講演「英学—わが師わが道」渡辺 彰

第16回 昭和59(1984)年6月23日(広島大学教育学部)

発表「瀬戸田のサム・パッチ」高垣俊雄

「片山潜とシェクスピア—アメリカ仕込みの演劇批評」田村一郎

講演「広島県史編纂について」天野卓郎

第17回 昭和59(1984)年11月7日(広島大学教育学部)

発表「H.E.パーマーの広島講演」松村幹男

「堀達之助と箱館の英学」五十嵐二郎

第18回 昭和60(1985)年6月8日(広島大学教育学部)

発表「明治中期における小学校の英語教育」竹中龍範

「庄原英学校会計の英学史的位罫」寺田芳徳

第19回 昭和61年(1986)年7月26日(広島大学教育学部)

発表「遠藤隆吉と英学(その一)」竹中龍範

「竹原常太について—教材論」藤井昭洋

「広島藩の英学—英人ブラックモールの招聘」寺田芳徳

第20回 昭和61(1986)年12月13日(福山大学)

発表「福山の英学」妹尾啓司

「広島英学の一駒—恩師先生を中心に」渡辺 彰

第 21 回 平成元（1989）年 11 月 25 日（広島大学学校教育学部）

発表「岡倉由三郎の *The Japanese Spirit*」竹中龍範

「英学者・浅田栄治再考—浅田栄治特別資料展を回顧して」河口 昭

第 22 回 平成 2（1990）年 6 月 2 日（広島大学総合科学部）

発表「明治期後期中等教育における英語教授法の研究—広島県立三次中学校

金 義鑑教諭の所論を視点到」野村勝美

「ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）とシェイクスピア」田村一郎

第 23 回 平成 2（1990）年 12 月 8 日（広島大学学校教育学部）。

発表「洋学者市川兼恭について」松村幹男

「イギリス帰国後の *Harold E. Palmer*」田中正道

第 24 回 平成 3（1991）年 6 月 15 日（広島大学総合科学部）

講演「歴史の転換点における英学」定宗一宏

発表「岩崎民平辞書の生成過程について(1)」河口 昭

「広島英学と慶應義塾」寺田芳徳

第 25 回 平成 3（1991）年 12 月 14 日（広島大学総合科学部）

発表「綴字改革に対するハロルド・イー・パーマーの見解」田中正道

講演「コロンブスと『東方見聞録』—コロンブスの米州発見 500 年に因んで」

伊東隆夫

第 26 回 平成 4（1992）年 6 月 13 日（広島大学総合科学部）

発表「大正後期における英語授業—広島県立府中中学校の場合」野村勝美

「森正俊宛書簡から浮かぶパーマーの顔」田中正道

第 27 回 平成 4（1992）年 12 月 5 日（広島大学総合科学部）

発表「広島英語教育研究所について—昭和戦前期英語教育史研究」松村幹男

「広島県下を中心とした洋学者について—その調査研究に関する問題」

妹尾啓司

第 28 回 平成 5（1993）年 5 月 29 日（広島大学学校教育学部）

発表「『英訳 漢土訓語 天』(J. デエイヴィス原著・中村正直訓点) の知られざる
側面」寺田芳徳

「広島・岡山地方の洋学者について—調査研究の現状と展開」妹尾啓司

第 29 回 平成 5 (1993) 年 12 月 18 日 (比治山女子短期大学)

発表「鳥取の英学—洋学小校について」森 悟

「日本英文学会第十一回大会における日本英学史資料展覧会について」

隈 慶秀

「Harold E. Palmer—一人と教授法」小篠敏明

第 30 回 平成 6 (1994) 年 5 月 28 日 (比治山大学)

座談会「広島英学の回顧と展望—支部創設を視点に」定宗一宏

発表「津山洋学から英学への道」能登原昭夫

シンポジウム「日本英語教育史から見る指導要領改訂の意義」五十嵐二郎

田村一郎・竹中龍範・河口 昭・松村幹男・野村勝美・田鍋 薫・田中正道

講演「歴史的存在としての英学—今日的課題と方法について」井田好治

第 31 回 平成 6 (1994) 年 12 月 17 日 (福山市立ふくやま美術館ホール)

小講話「福山英学の概況」妹尾啓司

発表「森正俊宛書簡から浮かぶハロルド・E・パーマーの顔(2)」田中正道

講演「豊田実著『日本英学史の研究』をめぐりて」ピアズ・ダウディング

第 32 回 平成 7 (1995) 年 5 月 27 日 (ノートルダム清心女子短期大学)

講話「『完訳カンタベリー物語』の口述筆記に参加して」下笠徳次

発表「倉田百三とキリスト教—倉田百三原著グレン・ショウ英訳『出家とその弟子』

をめぐって」野村勝美

第 33 回 平成 7 (1995) 年 12 月 9 日 (安田女子大学)

講演「ミシガン大学における榊井迪夫先生—アメリカの英語学研究史の一断面」

名柄 迪

発表「平沼淑郎と岡山中学—津山洋学から岡山英学へ(2)」能登原昭夫

「広島高師の杉森此馬」松村幹男

第 34 回 平成 8 (1996) 年 6 月 8 日 (広島大学学校教育学部)

講演「Harold E. Palmer 研究—私の場合」小篠敏明

発表「岩国英学の黎明期—御雇英国人教師ステーベンス」上杉 進

「『浅田栄次追懐録』復刻の意義」河口 昭

第 35 回 平成 8 (1996) 年 12 月 14 日 (ふくやま美術館)

発表「広島藩 (三原支藩) 招聘英国人士官ブラックモールの事蹟」寺田芳徳

「シェイクスピア『ハムレット』の翻訳について」中村浩路

「野上源造について—広島高師附中英語科初代主任の事蹟」松村幹男

- 第 36 回 平成 9 (1997) 年 5 月 31 日 (広島大学学校教育学部)
 講話「メイヤー先生のことなど」植木松太郎
 発表「明治期におけるシェイクスピア講義—逍遙、ハーン、漱石」田村一郎
 資料紹介「萩の英学文献紹介」寺田芳徳
- 第 37 回 平成 9 (1997) 年 12 月 14 日 (岡山市山陽学園大学)
 講演「上代淑 (カジロヨシ) と山陽英和女学校」能登原昭夫
 講話「「正則」 vs. 「変則」 学習法の流れ—伝統文法の歴史的意義」田鍋 薫
 発表「岡倉由三郎『ザ・ジャパニーズ・スピリット』考」平田諭治
- 第 38 回 平成 10 (1998) 年 5 月 30 日 (安田女子大学)
 講話「日本英学発達史の基礎研究 英学の思想と文化を訪ねて」寺田芳徳
 発表「日本滞在中の H.E.パーマーの海外旅行」田中正道
- 第 39 回 平成 10 (1998) 年 12 月 12 日 第 39 回研究例会 (岡山県津山市)
 講演「津山英学の系譜—三又学舎の昨今」山田宗八
 発表「宇田川興斎の『英吉利文典』について」池本康彦
 「平沼淑郎の『鶴峯漫談』について」能登原昭夫
- 第 40 回 平成 11 (1999) 年 5 月 29 日 (比治山大学)
 講演「私の英学遍歴」片山嘉雄
 発表「学習指導要領の必修語の変遷について」馬本 勉
- 第 41 回 平成 11 (1999) 年 12 月 11 日 (広島県庄原グランドホテル)
 発表「小日向定次郎と恩師小泉八雲先生」風呂 鞏
 「Harold E. Palmer と早期英語教育」竹中龍範
 シンポジウム「古きをたずねて新しきを知る—庄原における近代教育と英学」
 松村幹男
 「庄原における近代教育への歩み」国利義勇
 「世界に立つ庄原英学校—その歴史・文化的意義について」寺田芳徳
 「異文化を摂取した備北の地域」妹尾啓司
- 第 42 回 平成 12 (2000) 年 5 月 27 日 (安田女子大学)
 発表「英語教育関係者の英語会とスピーチに対するスタンス—岡倉由三郎と
 神田乃武を中心として」三熊祥文
 「パーマー著 *The Standard English Readers* と岡倉著 *The Globe Readers*
 について」小篠敏明
 「山本忠雄博士の「滞英日記」について」伊藤弘之

第 43 回 平成 12 (2000) 年 12 月 9 日 (山口県岩国市中央公民館)

講演「岩国の洋学」宮田伊津美

発表「倉田百三に宛てたロマン・ロランの手紙—原文の解説とその英語訳の試み」

野村勝美

「長州藩と岩国藩における英学への道」上杉 進

第 44 回 平成 13 (2001) 年 5 月 26 日 (安田女子大学)

発表「新教授法の紹介の中におけるフィエター：フィエターはどこに？」竹中龍範

講話「小泉八雲とその今日的課題—癒し(healing)、周縁性(marginal)、想像力(imagination)」風呂 鞏

講話「昭和 20 年代の英語学習—恩師と師範予科」岡田秀昭

第 45 回 平成 13 (2001) 年 12 月 8 日 (香川大学教育学部)

報告「第 38 回日本英学史学会全国大会 (萩研究大会) を顧みて—研究の展望」

寺田芳徳

発表「竹原常太の英語教育」藤井昭洋

「第 5 回中国 5 県春期英語特別講習会 (1960) について」山本勇三・克子

第 46 回 平成 14 (2002) 年 6 月 1 日 (広島大学教育学部)

発表「広島大学教育学部東雲分校の英学」小篠敏明

「忘れられた英語の達人：本田増次郎—美作から世界へ」中村浩路

第 47 回 平成 14 (2002) 年 12 月 7 日 (ふくやま文学館)

発表「新しい浅田栄次研究の展開」河口 昭

「平川唯一とカムカム英語」田中正道

第 48 回 平成 15 (2003) 年 5 月 31 日 (安田女子大学)

発表「明治・大正・昭和初期の英語教科書の計量的分析」

馬本 勉・松岡博信・本岡直子

「第 2 言語習得の条件—B. H. Chamberlain に学ぶ」次重寛禧

講演「英語授業 12 の事例—広島英語教育史より」松村幹男

第 49 回 平成 15 (2003) 年 12 月 6 日 (松江市サンラポーむらくも)

講演「ハーン没後百年を前にして—ハーンの現代・未来へのまなざし」小泉 凡

発表「ハーンのエピソード—大谷正信—子規・漱石・八雲をめぐって」日野雅之

「大学入試の中のハーン」風呂 鞏

「倉田百三の外国語にふれる—『愛と認識との出発』をとおして」野村勝美

第 50 回 平成 16 (2004) 年 5 月 29 日 (広島大学教育学部)

講演「英語に最敬礼の旅」五十嵐二郎

シンポジウム「広島支部の歩みを振り返って—これからを展望しつつ」竹中龍範

定宗一宏・妹尾啓司・寺田芳徳・松村幹男

第 51 回 平成 16 (2004) 年 12 月 4 日 (高知大学教育学部)

講演「牧野富太郎と英学—英和辞書の訳語をめぐって」村端五郎

発表「世良寿男の自筆ノートに見る広島高師の英語教育」馬本 勉

研究討議「中国・四国の英学 (特に四国・高知の英学史) に関する話題提供」

小篠敏明

第 52 回 平成 17 (2005) 年 5 月 28 日 (安田女子大学)

発表「竹原常太の総合基礎語彙表」鉄森令子

「永原敏夫の英語教育研究」松村幹男

講演「日本の英語教育—来し方行く末」小篠敏明

第 53 回 平成 17 (2005) 年 12 月 3 日 (岡山県立岡山朝日高等学校)

発表「中四国英学史話 (その 1)—伊藤俊介と高橋顕正の英学修業」佐光昭二

「津山英学の源流をさぐる—久原洪哉とウィリアム・ウイリスの出会いについて」山田宗八

講演「ガントレット氏と岡山」浜田栄夫

第 54 回 平成 18 年 (2006) 年 5 月 27 日 (広島県立生涯学習センター)

発表「漱石と Cassell's National Library (2) — A. Pope, *Poems: 1700-1714* の書き込みを中心に」田村道美

「Literary Assistant としての大谷正信」風呂 鞆

第 55 回 平成 18 (2006) 年 12 月 2 日 (香川大学教育学部)

発表「岩国英国語学所に関する研究 (1)—教師ステーベンスとその教え子たち」

保坂芳男

「オーラル・メソッド—もう一つの実践」竹中龍範

第 56 回 平成 19 (2007) 年 5 月 26 日 (比治山大学)

講話「支部創設の頃を振り返って」定宗一宏

講演「Dickens, *American Notes* について」伊藤弘之 (比治山大学)

シンポジウム「これからの英学史研究」田中正道

パネリスト 隈 慶秀・中舛俊宏・馬本 勉

コメンテーター 寺田芳徳・松村幹男

第 57 回 平成 19 (2007) 年 12 月 8 日 (山口大学教育学部)

発表「岡山英学史から見た岸田吟香」能登原昭夫

「岩国英国語学所の生徒たちの進路に関して—教師ステーベンスの影響に焦点をあてて」保坂芳男

「Apple はリンゴ (林檎) に非ず — 英和辞書における Apple 訳語の変遷について」村端五郎

第 58 回 平成 20 (2008) 年 5 月 24 日 (広島県立生涯学習センター)

発表「昭和初期のラジオ『受験講座』」田中正道

「志士たちの洋学」上杉 進

「吟香余聞」能登原昭夫

第 59 回 平成 20 (2008) 年 12 月 13 日 (福山大学社会連携研究推進センター)

発表「生麦事件の一考察—薩英戦争の歴史的意義をさぐる— 山田宗八

「昭和初期のラジオ『夏期英語会話講座』」田中正道

「妹尾啓司文庫にみる広島の英学」馬本 勉

第 60 回 平成 21 (2009) 年 5 月 30 日 (安田女子大学)

発表「月刊雑誌『上級英語』を読む」田中正道

シンポジウム「新学習指導要領と日本の英語教育：英学史からの提言」馬本 勉

「明治期の英語教育から」竹中龍範

「パーマーの時代から」小篠敏明

「戦後の英語教育から」三浦省五

「第二言語習得研究の歴史から」松岡博信

第 61 回 平成 21 (2009) 年 12 月 12 日 (高梁市文化交流館)

講演「備中高梁における英学事情—(備中松山藩を動かした一通の手紙)—」

高見 彰

発表「『条約改正』と communicate (通知する)」中村浩路

「岡山県商業学校の設立と初代校長小田堅立」齊藤泰成

「ロマン・ロランの「序文」—仏語版『出家とその弟子』への—」野村勝美

「広島高等師範学校入学試験英語問題にチャレンジ！」田中正道

「H. D. Leland に関する研究：岩国中学校での教育実践を中心に」保坂芳男

第 62 回 平成 22 (2010) 年 5 月 29 日 (比治山大学)

発表「哈爾濱学院入学試験英語問題の特徴」田中正道

「広島英語教育協会の設立と活動：昭和戦前期英語教育史研究」松村幹男

資料展観「比治山大学所蔵英学史関係資料ほか」

第 63 回 平成 22 (2010) 年 12 月 11 日 (香川大学教育学部)

発表「竹林文庫の英文原稿に関して」保坂芳男

『『カッセル国民文庫』の書誌的研究」田村道美

第 64 回 平成 23 (2011) 年 5 月 28 日 (県立広島大学 広島キャンパス)

発表『『英語発音秘訣』の著者・菊池武信の英語習得」安部規子

「明治期の英語読本独習書に関する研究：ウィルソン・リーダー独案内を中心として」馬本 勉

第 65 回 平成 23 (2011) 年 12 月 10 日 (津山洋学資料館)

講演「内科医学から自然科学へ：江戸蘭学界をリードした津山藩医宇田川家三代の活躍」下山純正

発表「津山英学の源流をさぐる：蘭学から英学へ」山田宗八

「おかやま英学の『流れ』と『つながり』：『おかやま英学史』出版をめざして」能登原昭夫

第 66 回 平成 24 (2012) 年 5 月 26 日 (県立広島大学 広島キャンパス)

発表「陸軍士官学校入学試験英語問題にトライ！」田中正道

『『出家とその弟子』の「序曲」一原文と英仏訳文との比較考察一」野村勝美

第 67 回 平成 24 (2012) 年 12 月 8 日 (今治明德高等学校)

発表「太平洋戦争下の愛媛県今治地域での英語教育」藤本文昭

「今治出身の重見周吉と『日本少年』」菅 紀子

第 68 回 平成 25 (2013) 年 5 月 25 日 (安田女子大学)

発表「大正 10 年の英語授業視察 (福岡・佐賀・長崎) について：防長教育会委託 学事視察復命書より」隈 慶秀

発表「京城中学校の英語教育について：中学修猷館との関わりを中心に」安部規子

第 69 回 平成 25 (2013) 年 12 月 14 日 (山口市歴史民俗資料館)

講演「杉孫七郎の渡欧と長州ファイブ」小山良昌

資料展観 山口市歴史民俗資料館所蔵資料 (大村益次郎関係ほか)

発表「松下村塾最後の塾生 正木退蔵と吉田寅次郎」上杉 進